

行政報告

学校給食民間委託 導入検討委員会の 検討結果

委員会では、「民間施設使用による学校給食」や「自校方式」、「給食運搬業務、調理等の民間委託」について、検討協議が行われました。

結果、本町の給食調理

食数が業者の希望する数に達していないこと、経費・調理の面からも大幅な効果が期待できないことから、現在の直営方式の継続が望ましいとの結論にいたりましたので、この決定を尊重し、今後も直営方式で継続することとしました。



給食センター

鞍手分校あり方検討 委員会の検討結果

町立鞍手分校の存続、または廃止に向けて、財政面や教育機関としての問題などについて検討協議が行われました。

結果、鞍手分校の存続が望ましい。

ただし、今後、生徒数の大幅な減少や施設の大改修が起ることも予想されるため、3年後もし



鞍手分校

くは5年以内に再度、見直しの検討が必要であると思われるとの提言がありました。

この提言を受け、教育委員会でも協議が行われ、現時点では存続が望ましいが、今後、運営状況が大きく変わるようになった場合は、改めて廃止について、検討が必要となるとの付帯意見を付けて、町長に報告がありました。

剣第二・西川第二 保育所の民営化の 検討経過

今後の少子化の進展を考慮し、剣第二保育所及び西川第二保育所の民営化について、検討を行っています。

そこで両保育所の保護者に対しての意向調査や近隣市町の社会福祉法人へ民営化の意見を聞くためのアンケートなどを実施しています。

今後は、「鞍手町立保育所民営化に係る移管先法人選考委員会」を設置して、民営化検討対象の二園について、参入法人を公募し、この委員会において、その応募法人の審査や移管先法人の選考などを行います。

保育所の民営化については、保護者など関係者にとつて、大きな問題ですので、今後とも慎重に検討していきたいと考えています。



西川第二保育所



剣第二保育所

町営住宅訴訟の判決

町営住宅入居者に起こしている住宅明渡訴訟において、当町が全面勝訴となる判決がありました。今後は、この判決内容を踏まえ、強制執行の手続きに入る予定です。

「町政懇談会」の実施状況

本年5月から町内の各地区で「町政懇談会」を実施し、町民の皆さんに、町の逼迫した財政状況、行財政改革の推進、旧宮本学園の学校用地の問題、今後のまちづくり計画などについて、直接報告や説明をし、町政に対する積極的なご意見・ご提言を今後の施策の参考とさせていただくことを目的として開催しています。

現在まで37地区で開催し、延べ896人の方の出席をいただいています。町民の皆さんと直接、対話をする中で、町民の皆さんは、当町の財政が破綻し、赤字財政再建団体になるのではないかと、という将来に不安を持っておられる方が多く、それだけ私たち町行政を見る目には厳しいものを感じています。

それと同時に、当町を
活気ある町にして欲しい



町政懇談会
(新延本村区)

という大きな期待を寄せられていることも強く感じています。これら、町民の皆さんの不安を払拭するために、さらなる行財政改革を推進し、他方では総合計画に定めるまちづくり施策を積極的に推進して行くことが、現在の私に課せられた最大の使命であると考えています。

町立病院職員トイレ便座の火災

平成19年9月8日（土曜日）午後11時ごろ、東病棟2階職員専用トイレの便座が焼失しているのを当直の医師が発見しました。火はすでに鎮火し、延焼もありませんでした。

直ちに広域消防及び直方警察署による現場検証が行われました。

事件性がないと思われるということでしたが、火の気の無い場所での火災発生であることから、原因を究明するため、9月10日に「ウォシユレット」の製造業者であるOTTO株式会社に対し、消防署立会いの上機器の検査を依頼しました。

今後の安全管理につきましては、防火体制を再点検、検証して、夜間管理体制を含めた上で、職員の防火・防災教育の強化の徹底を図りながら、防火体制の強化を図っていきます。



町立病院

この火災により、患者の皆さんをはじめ、町民の皆さんに大きな不安を与えましたことを深くお詫び申し上げます。

【OTTO株式会社の調査結果】

9月21日、便座の解析結果並びに同型機種での燃焼試験を行った結果、火災の要因は、製品内部からの発火ではなく、外部からの要因により焼損したと推定される。

現在、直方警察署・消防本部が原因究明を行っています。

コミュニティバスの運行路線の一部延長

コミュニティバスは、平成18年4月からJRバス路線の廃止に伴う代替路線区間のみ運行しています。

本年3月に「鞍手町内循環バス導入検討委員会」から出された4項目の最終提言の一つに、午

前1便・午後1便、新延泉水・六反田・神崎地区への路線延長の要望があったので、これを実現するために、本年8月、「鞍手町地域公共交通会議」が開催され、審議の結果、この路線延長が承認されました。

町では、現在、関係機関への細部にわたる手続を行っており、早期運行の実現に向けて努力しています。

コミュニティバスの延長路線

